

「地域漁業学会第66回大会」一般報告スケジュール

一般報告日時: 11月10日(日) 1報告の持ち時間: 25分 (うち、報告20分、質疑5分)

会場	時刻	No.	代表報告者名(所属)	報告題目	産長
第1会場 (21講義室)	9:00-9:25	第1報告	小岩 信竹(東京海洋大学名誉教授)	日中戦争期の上海における華中水産株式会社の成立と活動	橋村修
	9:25-9:50	第2報告	片岡千賀之(長崎大学名誉教授)	近代における下関の鮮魚集散地化とその構造変化	
	9:50-10:15	第3報告	古谷悠真(東京海洋大学大学院)	漁船法による漁船の性能基準と1930-1940年代における漁船船型統一事業	
	10:15-10:40	第4報告	林紀代美(金沢大学)	長野県民の「ビタミンちくわ」の消費・認識と食を通じた災害復興支援	中村周作
	10:40-11:05	第5報告	塚本礼仁(滋賀県立大学)	「大津のうなぎ食文化」の構造	
	11:05-11:30	第6報告	野沢 響(三重大学大学院) 常 清秀(三重大学)	水産加工原料仕入れ構造の変化と地域流通再編に関する一考察	前田電孝
	11:30-11:55	第7報告	山本 尚俊(摂南大学農学部) 北野慎一(京都大学農学部)	量販店による水産物販売と消費地市場仕入の位置・関係性一なぜ消費地市場(業者)は「取引の柔軟性」で高評を得るのか一	
	11:55-12:20	第8報告	磯部作(元日本福祉大学)宇野雅人(観音寺漁業協同組合) 富真 淳(環境コンサルタント) 野口佳祐(香川県立多度津高校)塩入 同(日本財団)	瀬戸内海における小型機船底曳網漁業による海底ごみ回収の体制構築と実践一隠微などを中心として一	工藤貴史
	12:20-12:45	第9報告	山下東子(大東文化大学経済学部)	貝殻処理における日本の優位性の検証一ホタテ殻とカキ殻を中心に一	
第2会場 (22講義室)	9:00-9:25	第1報告	藤本麻里子(鹿児島大学水産学部)	ザンジバルにおいて観光客向けの水産物はどうに供給されているか一ウングジャ北部州の観光地を事例に一	宮田勉
	9:25-9:50	第2報告	岩崎慎平(福岡女子大学)	タイ・クラブバンク組織化の普及過程: 適応循環モデルを用いた考察	
	9:50-10:15	第3報告	Fitriana Dina Rizkina(愛媛大学大学院連合農学研究科) Naruhito Takenouchi(愛媛大学大学院連合農学研究科) Hiroyuki Kasamatsu(愛媛大学)	Supply Chain Management of Fishery Products in the Indonesian Remote Island: A Case Study in Bawean Island	
	10:15-10:40	第4報告	Mussa Happy(鹿児島大学大学院連合農学研究科) 鳥居享司(鹿児島大学)	Navigating Challenges and Seizing Opportunities in Fish Value Chain in Malawi	山下東子
	10:40-11:05	第5報告	鹿熊信一郎(佐賀大学)	マラウイにおける水産資源管理評価ツールの設計一ツールの背景、意義、有効性一	
	11:05-11:30	第6報告	ホープソン・カシヤ(東京大学大学院農学生命科学研究科) 牧野光琢(東京大学大気海洋研究所)	ASSESSING FISHERIES RESOURCE MANAGEMENT IN MALAWI USING FISHERIES RESOURCE MANAGEMENT EFFECTIVENESS ASSESSMENT TOOL (FR MEAT)	
	11:30-11:55	第7報告	丸山匠(東京大学大学院農学生命科学研究科) 牧野光琢(東京大学大気海洋研究所)	“資源管理方針に関する検討会”への参加者の分析と議事録のテキストマイニング	
	11:55-12:20	第8報告	松村俊吾(愛媛大学大学院連合農学研究科・水産庁瀬戸内海漁業調整事務所) 竹ノ内徳人(愛媛大学南予水産研究センター)	改正漁業法下における資源管理協定導入による漁業管理構造への影響一北海道枝幸町における沿岸漁業を事例として一	
第3会場 (32講義室)	9:00-9:25	第1報告	神山龍太郎(水産研究・教育機構) 福釜知佳・松井隆宏(東京海洋大学)	漁業経営統計調査の対象の整理と効果的な追加調査の検討	牧野光琢
	9:25-9:50	第2報告	福釜知佳(農林水産政策研究所)	包絡分析法による漁業協同組合の効率性と諸施策の効果の検討	
	9:50-10:15	第3報告	伊原希望(北海道大学環境科学院) 白岩孝行(北海道大学低温科学研究所)	北海道知床半島オホーツク海沿岸域の漁業小屋の現況とその機能に関する考察	松井歩
	10:15-10:40	第4報告	日高健(近畿大学産業理工学部) 立花佐和子(近畿大学大学院産業理工学研究科院生)	社会生態システム・フレームワークに基づく海業と里海の連携一宮城県南三陸町志津川湾を事例に一	
	10:40-11:05	第5報告	松原 花(東京大学大学院 農学生命科学研究科) 牧野 光琢(東京大学 大気海洋研究所)	女性の漁船漁業就業による地域漁業の持続可能性への影響一国内3事例の比較一	原田幸子
	11:05-11:30	第6報告	清藤幸美(東京海洋大学)福釜知佳(東京海洋大学) 安達日向子(一般社団法人フィッシャーメン・ジャパン) 松井隆宏(東京海洋大学)	女性の視点からみた漁業の就労環境の現状と課題	
	11:30-11:55	第7報告	今川恵(水産研究教育機構)	地域漁業における漁業就業と担い手確保の現状一和歌山県湯浅漁協地区を事例として一	
	11:55-12:20	第8報告	金丸雄一 (甲賀地区景観環境保全会/三重外湾漁業協同組合正組合員)	磯の変容に克つ知恵を模索するアマ(海女・海士)たち一三重県志摩半島のアマの資源管理と輪島海女漁の復活支援一	崎田誠志郎